

クラス以上の高解像サウンドを生む
JVCのこだわり

サウンド “Hi-SPEED” 疾走する高解像音



口径
φ5.8mm×2

再生周波数帯域
6~26000Hz

スパイラルドット
イヤーピース

銀コートOFC線

JVC HA-FXT200

実勢価格：1万1210円

フルレンジで解像感を増す 素材の異なるドライバー2基

φ5.8mmドライバーを2つ配し、反応速度を高めた「Hi-SPEED」ツインシステムユニットを搭載。中高域の解像感を高めつつ、背面のツインバスポートにより低域も引き締めている。銀コートOFC線やフィットサポートの採用で音質、装着性が追求されたモデル。



JVC HA-FXH30

実勢価格：5550円

ダイレクトで響くクリアな高解像音

φ5.8mmの小径ダイナミックドライバーを採用し耳の奥へ配置するよう設計。高解像度の中高域を実現した。ハウジング上部にバスポートを設け余分な反響を抑え、締めりのある低域も獲得。装着感を高めるフィットサポートも装備。

口径
φ5.8mm

再生周波数帯域
8~26000Hz

ヘッドホン作りにおいて突出した技術へのこだわりを持つJVCが届ける2つの高音質シリーズ。2シリーズに共通する、注目の設計「Hi-SPEED」がもたらす高解像音があなたの耳へと疾走する。

文 / 増谷茂樹 撮影 / 江藤義典

2つのシリーズに共通する「Hi-SPEED」とは

音の反応速度を高めることで高い解像感を獲得する仕組み

反応速度が速いチタンコート振動板を採用し、ドライバーユニットの前後に複数のマグネットを配置。磁力をボイスコイル部に収束させることで、より反応速度を高めた構造に。音の立ち上がりを強化し、全体の解像感を向上させる仕組みだ。

トリプルシリンダー構造やボディ上部のバスポートにより、広帯域再生や歪みの抑制にも配慮している。上位シリーズとなる「HA-FXT」シリーズは、高密度なサウンドに定評のあったツインシステムユニットを進化させ、「Hi-SPEED」設計を加えた。フルレンジでの解像感を向上させつつ、ツインバスポートで低域成分を締め音像に厚みをもたらす。「HA-FXT200」では振動板にかかる空気圧を最適にするアコースティックチューブチャンパーや銀コートOFC線など、妥協のない作り込みまで施されている。1万円前後のヘッドホンでは類を見ないほど、多くの技術が投入された2シリーズ。技術に垣間見えるJVCの「こだわり」が、その上質な高解像サウンドを生み出したのだ。

たゆまず磨いた伝統技術が余すところなく投入される

中低域表現に優れたダイナミックドライバーを採用しながら、中高域の解像感を高め、全域での解像度アップを実現したJVCの「HA-FXT」シリーズと「HA-FXH」シリーズ。両者に共通するのは、チタンコート振動板と複数のマグネットを組み合わせた「Hi-SPEED」システムを採用していること。そしてJVCならではの音響技術を詰め込み、高品位な音を実現するその「こだわり」において共通する。「HA-FXH」シリーズでは小型で高性能なドライバーを筐体先端に配置して、耳奥にその高解像音を直接届けるような構造を採用。さらにトップモデル「HA-FXH30」は、

HA-FXT200こだわりの技術ポイント

① トリプルマグネット構造

ボイスコイル駆動用と、その前後にマグネットを装備したトリプルマグネット構造を採用。磁力をボイスコイルに収束させることで入力信号に対する反応速度を高め、素早い音の立ち上がりを実現している。

② 新ツインシステム

2つのドライバーを搭載することで厚みのある音を鳴らすJVC独自のドライバー構造。新たに中高域用振動板をチタンコートとし、異なる素材の振動板が生む音の重なりで音の密度感を向上させた。

③ 高比重ハウジング

ハウジングにはガラスファイバーを配合した高比重素材を用いることで、ドライバーユニット内で起きる振動ロスを低減。振動板の歪みを抑え安定したクリアな再生音を生む。

④ アコースティックチューブチャンパー

音のロスを減らすためにユニットを前方に配置すると、ユニット前方の容積が減り前方からの圧力が強まる。これを避けるため、チューブ状のダクトを設け空気を分散させ、振動板の動きを最適化。

OTHER LINE UP

JVC HA-FXT100

実勢価格：8370円

新ツインシステムを継承

チタンコート振動板を採用した、新ツインシステムユニットは上位モデルと同様。マグネットの数を2つにすることでリーズナブルな価格を獲得したエントリー機。

口径 φ5.8mm×2

再生周波数帯域 7~26000Hz

スパイラルドットイヤーピース

OTHER LINE UP

JVC HA-FXH20

実勢価格：3520円

“Hi-SPEED”の中級機

トップモデルと同じダブルマグネット構造を採用した“Hi-SPEED”マイクロHDユニットを搭載。抑えられた価格と、3色のカラバリレーションがポイントだ。

口径 φ5.8mm

再生周波数帯域 10~25000Hz

HA-FXH30こだわりの技術ポイント

① チタンコート振動板

各種素材を検証の末、振動板に反応速度と音質に優れたチタンを初めて採用した。音の伝達速度が上がることで細かな音も正確に再現することができ、クリアで再現性の高い音を生み出す。

② ダイレクトトップマウント構造

小型で高性能なマイクロHDユニットを、イヤーピースの先端に極力近付けて配置する構造。鼓膜により近い位置へと振動板が位置するため、モニタースピーカーのような高解像音を再生する。

PICK UP 限定モデルはさらに高音質

JVC HA-FXT200LTD

実勢価格：1万2710円

臨場感と立体感もプラス

筐体にゴールドのカラーオーナメントをあしらひ、銀コートOFC線の編組コードを採用したりミテッドバージョン。素材の徹底により、厚みのある音像に立体感が加わる。

口径 φ5.8mm×2

再生周波数帯域 6~26000Hz

スパイラルドットイヤーピース

銀コートOFC線

PICK UP 最エントリーでも良音!

JVC HA-FXH10

実勢価格：3030円

カラバリも豊富な実力派

チタンコート振動板を採用したダイレクトトップマウント構造は上位モデルと共通。価格以上の精彩な中高域表現の実現に成功している。4色のカラバリも魅力の1つ。

口径 φ5.8mm

再生周波数帯域 10~24000Hz

③ トリプルシリンダー構造

最上位モデルである「HA-FXH30」はマグネットとプラス（真鍮）、ガラスファイバーを配合した高比重ハウジングの3層構造を採用。不要振動を低減し、よりクリアな再生音を実現した。

④ ダブルマグネット構造

ドライバーユニットの後方に、もう1つマグネットを追加で配置。この構造によってボイスコイルに磁力を収束させ、より高磁力な状態を作り出し、反応速度をさらに高めることに成功している。